



病院のしくみ

システムを知れば納得！

介護と医療の連携強化

4月からの報酬改定で、手厚い報酬がつけられたのが医療との連携。入退院時の支援がより評価され、ケアマネジャーは病院とやり取りする機会が増えそうです。

病院との連携で鍵となるポイントの一つが、早い段階での情報提供。厚生労働省の調査では、現在でも半数以上がケアマネジャーが2日以内に入院先への情報提供を行っています（図1）、報酬改定でさらに後押しされます。

もう一つの鍵が、退院時カンファレンス。こちらもすでに約半数のケアマネジャーが退院時に出席しているという結果が出ています（図2）。

とはいえ、実態としてはさまざまな難しさを感じているケ

どうする？ 入退院

アマネジャーも少なくないようです。なんとか都合をつけて出席はしてはいるものの、病院の都合に合わせた時間設定で苦勞していたり、退院時に病院から利用者情報を得ることへの難しさを感じていたり（図3、図4）。

今回の特集では、そんな不満を少しでも解消するヒントとなる内容を目指しました。「戦う前に敵を知れ」といっては少々言いすぎかもしれませんが、台所事情も含めて病院のしくみを理解すれば、納得はしやすくなりそうです。

報酬改定で注目される医療との連携を考える一助にしてみてください。

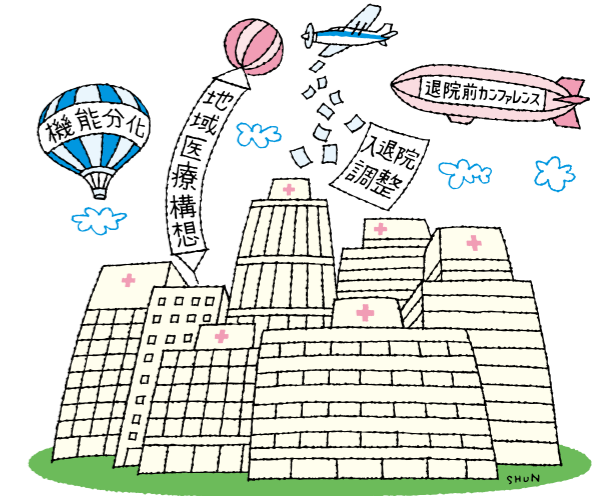


図1 入院時に医療機関に情報提供を行った日
n=149,110

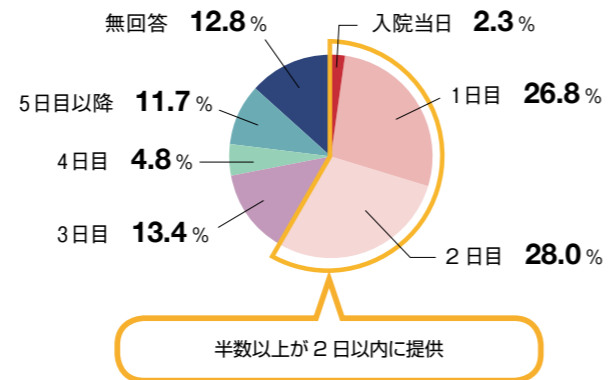


図2 退院時カンファレンスの出席の有無
n=171,262

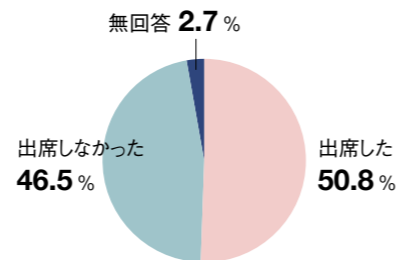


図3 退院時カンファレンスで問題と感ずる点（複数回答） n=1,572

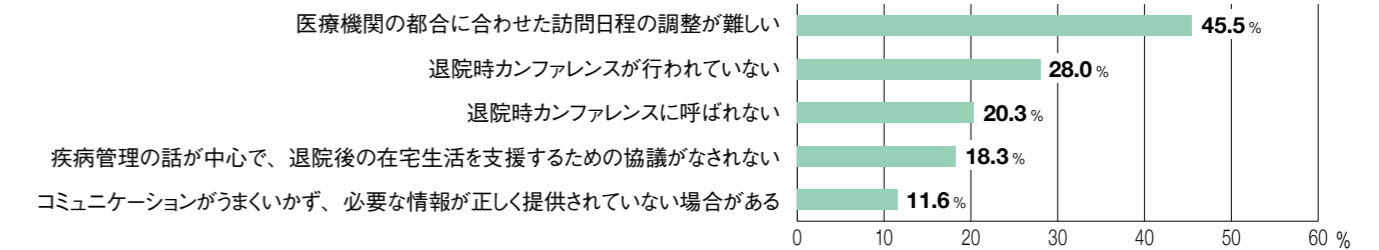
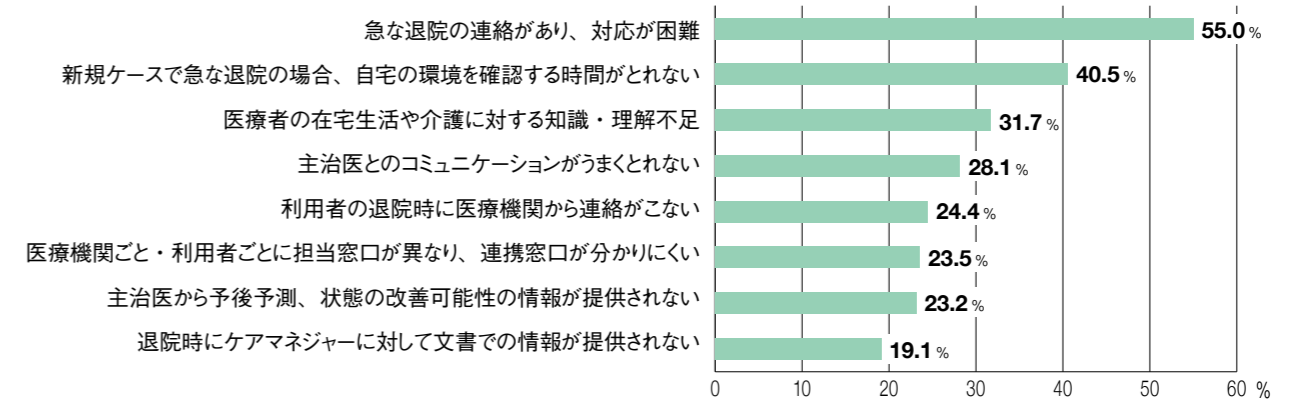


図4 退院時に利用者情報を得ることが困難と感ずる点（複数回答） n=1,572



出典：「居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の業務等の実態に関する調査研究事業」（2016年度調査）をもとに編集部で作成 ※図1～4とも